

(1) 国語を学習すると・・・

- 相手の意見や考えを理解する力が付く。
- 自分の考えや気持ち(思い)を伝える力が付く。
- 情報を正しく理解する力が付く。
- 想像力や豊かな感性が身に付く。
- 国語(母国語)を大切にすることが育つ。
- ことばの学習や習得は、人間形成につながる。
- 話す・聞く・読む・書く学習は、すべての教科の基礎となる。
- 論理性が身に付き、生きる力につながる。
- 先人たちが築き上げた文科の伝達者となる。

<具体的な学習方法>

授業の受け方	前の時間の内容を確認する。 授業のめあてをしっかりとつかむ。 先生の質問について、自分なりの考えをもつ。 自分の考えをはっきり述べる。 先生の話や友達の発言をしっかりと聞く。 グループや全体の話し合いに積極的に参加する。 ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。 板書以外のこと(先生や友達の発言など)もメモする。 身近なところに辞書を置き、いつでも活用できるようにしておく。 友達の意見、発表、作品を大切に認める。
家庭での学習の仕方	【予習】 教科書を音読する。 新出漢字や読めない漢字、意味の分からない語句を、辞書を使って調べておく。 【復習】 授業で使ったプリントやワークを整理し、課題に対する考えを分掌にして書く。 その日に学習した漢字、語句などを確認し、書いて覚える。 宿題は、学習したその日のうちにする。 教科書を繰り返し音読する。
効果的なテスト勉強法	授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題をもう一度解いてみる。 漢字を繰り返し書いて覚える。 教科書を繰り返し音読する。 必要事項を暗記する。
ワンランクアップするために	辞書を手元に置き、分からないことを調べる習慣を身に付ける。 自分で問題を作成し、テスト形式で復習する。 漢字検定に挑戦する。 新聞のコラムを読み、要約を書く。 読書する習慣を身に付ける。 毎日の生活の記録や日記等を、その日を振り返り丁寧にまとめる。 常に文字を正しく書くように心がける。 機会あるごとに、作文・詩・短歌などを作ってみる。